

## 2022年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社 オーネックス  
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 和雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長 (氏名) 田島 圭子  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年6月期第2四半期の連結業績(2021年7月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第2四半期	2,667	12.1	10		15		29	
2021年6月期第2四半期	2,378	16.4	37		11		161	

(注) 包括利益 2022年6月期第2四半期 39百万円 ( %) 2021年6月期第2四半期 123百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第2四半期	18.06	
2021年6月期第2四半期	97.24	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第2四半期	10,463	5,264	50.3
2021年6月期	10,183	5,337	52.4

(参考) 自己資本 2022年6月期第2四半期 5,264百万円 2021年6月期 5,337百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期		0.00		20.00	20.00
2022年6月期		0.00			
2022年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,201	2.7	205		204		151		91.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年6月期2Q	1,660,000 株	2021年6月期	1,660,000 株
期末自己株式数	2022年6月期2Q	4,011 株	2021年6月期	4,011 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年6月期2Q	1,655,989 株	2021年6月期2Q	1,656,039 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、ワクチン接種の広がりや各種感染対策の徹底により足元の感染者数は低位で推移し、経済社会活動が正常化に向かうなかで、景気が持ち直していくことが期待されますが、世界的なサプライチェーン停滞の影響や原材料価格及び電気料金の高騰による下振れリスクの高まりが懸念され、生産活動が停滞するといった悪影響も顕在化しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下で、2021年3月に閉鎖した長野工場の取引先を厚木及び東松山工場へ移管し、当初の目的である生産効率の向上のため収益基盤を強化中であり、加えて山口工場の生産集約及びオーネックステックセンターの基盤拡大も推進中であります。

こうした事業活動の結果、売上高は、主力取引業界である自動車部品関連、産業工作機械関連などの受注が増加したため前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。経費面では、原材料費や電力費等の製造コストが上昇したものの、経費の削減に努めたため営業利益、経常利益は前年同四半期と比べ増加しました。しかしながら、厚木工場にて発生した火災による災害費用が発生したため、四半期純損失となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は2,667百万円(前年同四半期比12.1%増)、営業利益は10百万円(前年同四半期は営業損失△37百万円)、経常利益は15百万円(前年同四半期は経常損失△11百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は△29百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失△161百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 金属熱処理加工事業

金属熱処理業界につきましては、主力取引業界である自動車部品関連、産業工作機械関連などの受注が増加したため売上は、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。また、株式会社オーネックステックセンターの売上も前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。経費面では、エネルギーコストなどの経費等の高騰により、セグメント損失となりました。

これらの結果、売上高は2,395百万円(前年同四半期比14.2%増)、セグメント損失は△18百万円(前年同四半期はセグメント損失△53百万円)となりました。

#### ② 運送事業

運送事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響及び燃料費等の高騰による受注減により売上高は減収となったものの、労務費の削減等によりセグメント利益は増益となりました。

これらの結果、売上高は271百万円(前年同四半期比△3.4%減)、セグメント利益は19百万円(前年同四半期比410.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して280百万円増加し、10,463百万円となりました。これは主に現金及び預金213百万円及び電子記録債権65百万円が増加したことなどによるものです。

#### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して353百万円増加し、5,199百万円となりました。これは主に長期借入金420百万円及び短期借入金34百万円増加し、その他流動負債が102百万円減少したことなどによるものです。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して73百万円減少し、5,264百万円となりました。これは利益剰余金が63百万円及びその他有価証券評価差額金が9百万円減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月10日に第2四半期の業績予想の修正を公表いたしましたが、2022年6月期の通期の連結業績予想につきましては、現在調査中であり、修正が必要な場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,651,283	2,864,335
受取手形及び売掛金	1,133,509	1,084,590
電子記録債権	537,919	603,002
製品	13,689	20,575
仕掛品	44,979	32,020
原材料及び貯蔵品	87,325	92,122
その他	94,987	77,409
流動資産合計	4,563,694	4,774,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,104,004	1,211,134
機械装置及び運搬具(純額)	1,267,277	1,307,034
土地	2,206,424	2,206,424
リース資産(純額)	112,909	97,478
建設仮勘定	66,878	4,320
その他(純額)	178,196	166,041
有形固定資産合計	4,935,690	4,992,433
無形固定資産	47,525	41,039
投資その他の資産		
投資有価証券	235,497	225,691
繰延税金資産	269,463	297,205
その他	131,232	133,168
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	636,138	656,010
固定資産合計	5,619,355	5,689,484
資産合計	10,183,050	10,463,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	122,863	138,509
電子記録債務	241,956	217,790
短期借入金	860,436	894,678
1年内償還予定の社債	2,500	—
未払金	291,926	294,307
未払費用	223,956	255,699
未払法人税等	40,820	23,643
賞与引当金	14,997	15,041
その他	251,850	149,795
流動負債合計	2,051,307	1,989,466
固定負債		
長期借入金	1,995,365	2,416,151
退職給付に係る負債	648,583	654,966
その他	150,784	138,471
固定負債合計	2,794,733	3,209,589
負債合計	4,846,040	5,199,055
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,703,029	3,639,688
自己株式	△6,071	△6,071
株主資本合計	5,288,751	5,225,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,257	39,073
その他の包括利益累計額合計	48,257	39,073
純資産合計	5,337,009	5,264,484
負債純資産合計	10,183,050	10,463,540

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)
売上高	2,378,983	2,667,028
売上原価	1,891,708	2,141,588
売上総利益	487,275	525,439
販売費及び一般管理費	524,815	515,108
営業利益又は営業損失(△)	△37,540	10,330
営業外収益		
受取利息	1,166	1,164
受取配当金	1,743	2,795
受取賃貸料	3,433	5,069
スクラップ収入	2,885	4,122
雇用調整助成金	26,890	6,174
その他	5,359	3,397
営業外収益合計	41,478	22,722
営業外費用		
支払利息	11,046	10,217
支払手数料	3,118	3,276
その他	889	3,751
営業外費用合計	15,053	17,245
経常利益又は経常損失(△)	△11,115	15,807
特別利益		
固定資産売却益	4,575	2,261
投資有価証券売却益	—	33
特別利益合計	4,575	2,295
特別損失		
固定資産売却損	29,375	23
固定資産除却損	6,698	4,902
減損損失	80,751	—
投資有価証券売却損	—	21
投資有価証券評価損	43,839	—
災害による損失	—	54,403
特別損失合計	160,664	59,350
税金等調整前四半期純損失(△)	△167,204	△41,247
法人税、住民税及び事業税	20,169	14,586
法人税等調整額	△26,338	△25,932
法人税等合計	△6,168	△11,346
四半期純損失(△)	△161,035	△29,901
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△161,035	△29,901

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△161,035	△29,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,673	△9,183
その他の包括利益合計	37,673	△9,183
四半期包括利益	△123,362	△39,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△123,362	△39,085
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金期首残高に与える影響は軽微であります。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。